

リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

取扱説明書／保証書

BeTime A-93

このたびは、リモコンエンジンスターターをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられた後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

目次






- 使用上の注意 2ページ
- 梱包内容と各部の名称 3~4ページ
- 取付け
 - ・取付けの注意 5ページ
 - ・コネクター接続、アンテナユニットの固定方法 6~8ページ
 - ・動作確認 9~11ページ
 - ・動作確認対処方法 12ページ
 - ・12Pコネクターの接続 13ページ
 - ・フットブレーキ配線 14ページ
 - ・L端子検出配線 15~16ページ
 - ・当社セキュリティシステムの連動について 17~19ページ
 - ・ワイヤレスドアロック機能について 20~22ページ
 - ・カーテン検出による安全機能 23ページ
 - ・警告ステッカーの貼り付け場所 24ページ
 - ・オプションイモビ対応アダプターの取付けについて 24ページ
 - ・メインユニットの固定方法 25ページ
 - ・動作不良エラー確認表 26~27ページ
- リモコンの使用法
 - ・エンジンを始動させる 28~29ページ
 - ・エンジンを停止させる 29ページ
 - ・アンサーバック音の切替えについて 30ページ
 - ・ワイヤレスドアロック機能の使用法 31ページ
 - ・電波特性／電池交換のしかた 32ページ
- 機能設定
 - ・ファンクションスイッチ設定について 33ページ
 - ・リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について 33~40ページ
 - ・ターボタイマーとセル時間の設定について 41ページ
 - ・セキュリティ威嚇LEDについて 42ページ
 - ・その他（オプションについて） 43ページ
- 運転するには 44ページ
- スリープ機能について 44ページ
- IDコードの再登録 45ページ
- IDコードの追加登録 46ページ
- 故障かな？と思ったら 47~48ページ
- アフターサービスについて 49ページ
- 仕様 50ページ
- 保証規定 51ページ

使用上の注意

ご使用の前に下記の注意事項を必ずお読みください。

危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、キーをOFFにする時はATシフトレバーを  (パーキング) に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、 (パーキング) 以外でもキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- アイドルリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 一部の車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時にシフトレバーが  (パーキング)、 (ニュートラル) 位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーが  (パーキング) の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

注意

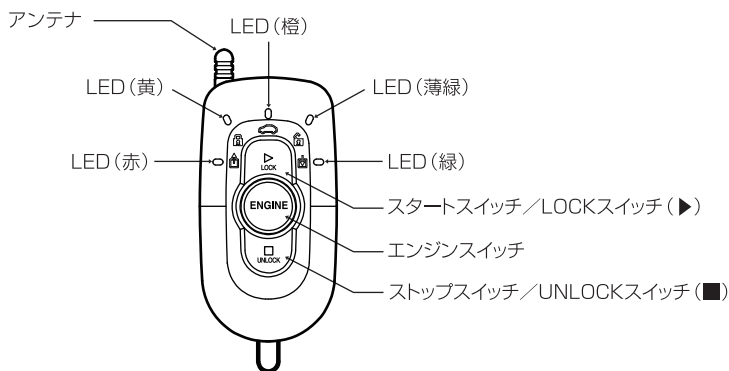
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー (スターター含む) や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- 本機作動中は、車の仕様によりキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びドライビングポジションシステムが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- スターターやターボタイマーを作動する時、車のオートライト機能を「AUTO」にすると、ヘッドライトが点灯したままになる車両は、降車時にスイッチをOFFにしてからキーを抜いてください。
- 公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が入りできる場所を含みます。)
- リモコンは防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。

本機取付け後にエンジン始動及び停止した時、車載のスピーカーから異音が発生することがありますが、異常ではありません。

梱包内容と各部の名称

■リモコン (1個)

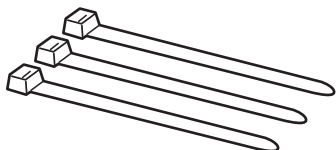


リモコンの操作方法

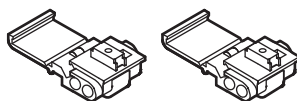
作動内容	操作方法	作動内容	操作方法
エンジンスタート	エンジンスイッチ → ▶	エンジンストップ	エンジンスイッチ → ■
車両ドアロック& 弊社 別売セキュリティシステム スタート	▶ → ▶	車両ドアアンロック& 弊社 別売セキュリティシステム ストップ	■ → ■
車両ドアロックのみ	▶ 2秒長押し	車両ドアアンロックのみ	■ 2秒長押し

リモコン電池はCR2032×2個内蔵 (電池交換のしかたはP32参照)

■インシュロック (3本)



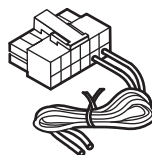
■エレクトロタップ(2個)



■当社別売 セキュリティシステム接続線 (茶色)(P17参照)(1本)



■12Pコネクター (1個) (P13参照)

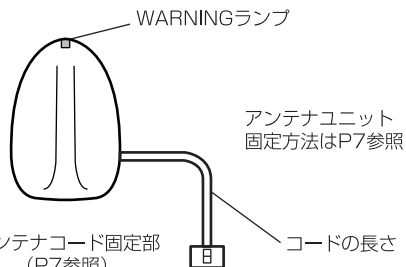


■警告ステッカーシート (1枚)



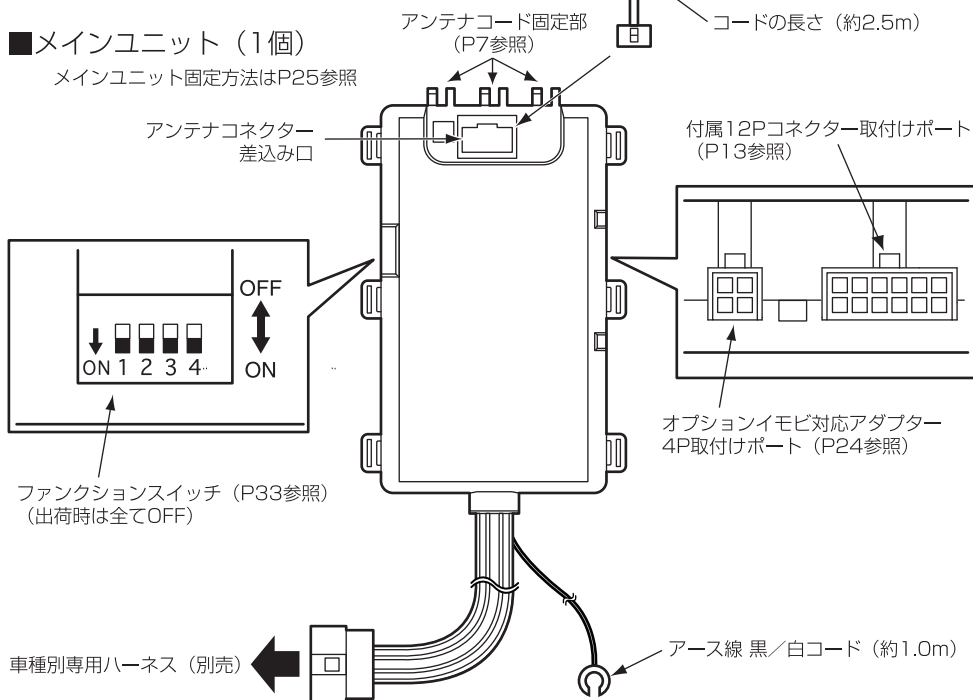
梱包内容と各部の名称

■アンテナユニット（1個）



■メインユニット（1個）

メインユニット固定方法はP25参照



ファンクションスイッチのはたらき（詳細はP33参照）

No	スイッチのはたらき	OFF	ON	No	スイッチのはたらき	OFF	ON
1	Pポジション検出 （※1）	通常	OV	3	IG入力検出の選択 （※2）	IG1 （通常）	IG2
2	フットブレーキ配線	配線しない	配線する	4	ディスプレイモード （※3）	無効 （通常）	有効

※1 一部の車両でターボタイマー作動中、シフトレバーがパーキング[P]やニュートラル[N]の位置以外でキーが抜けてしまう場合にBe-963 Pポジション線を車両のPポジションインジケータランプに配線して設定します。

※2 一部の車両でリモコンでエンジンをかけた時にセルがまわらずエンジンが始動しない場合や、ターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもエンジン停止しないことがあります。そのような時はファンクションスイッチNo.3をONにしてください。

※3 ディスプレイモードは販売店で本機をディスプレイとして展示する場合に、ON(有効)設定にしてください。通常はOFF(無効)に設定してください。

取付け (取付けの注意)



取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

① 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー (+)
- ・ニッパー
- ・絶縁テープ
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・保護テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

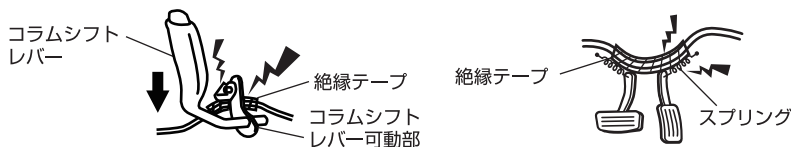
② シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、キーを抜きます。



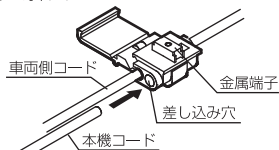
③ 配線について

アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)に専用ハーネスやコード類の配線が接触し、配線ショートしてしまいメインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となりますので、必ず市販の絶縁テープを貼って保護してください。

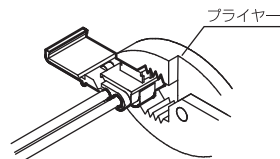


④ エレクトロタップ使用方法について

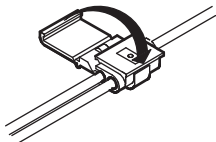
1 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、本機コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



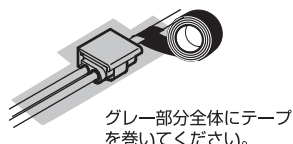
2 プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



3 カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。



4 絶縁テープを巻いて作業終了です。

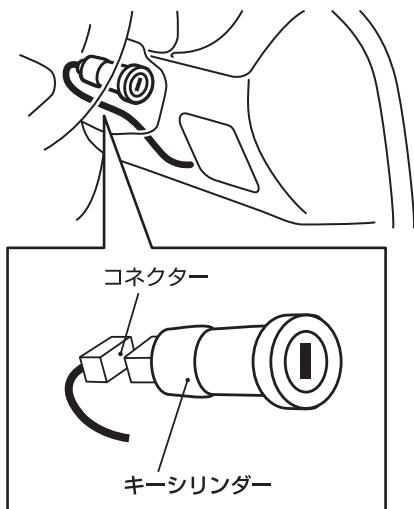


取付け（コネクター接続、アンテナユニットの固定方法）

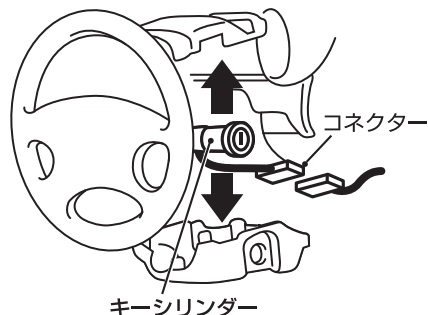
1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。

※コネクターの場所は車種によって異なります。（ほとんどの車が下記のいずれかにあてはまります。）車種によってはコネクターが2ヶ所存在する場合もあります。

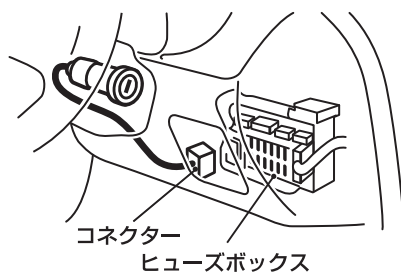
①キーシリンダー直付けタイプ



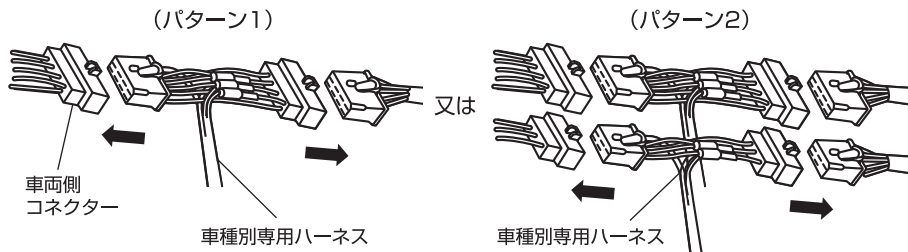
②キーシリンダーから10cm～20cmの場所にあるタイプ



③ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ



2 車両側のコネクターを外し、外したコネクター間を車種別専用ハーネスで接続してください。



⚠ 注意


- ・車種別専用ハーネスを接続しただけでは、エンジンは始動しません。もしエンジン始動した場合は、そのコネクターは違いますので別のコネクターを探してください。
- ・専用ハーネスによっては車両側のコネクターを2ヶ所外し、接続する必要があります。（パターン2参照）

取付け（コネクター接続、アンテナユニットの固定方法）

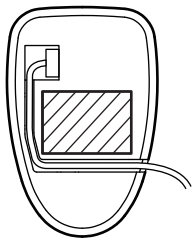
3 アンテナユニットの取付け・配線

⚠ 注意

- ・アンテナユニットは視界の妨げになる場所（運転席／助手席から前のガラス面等）に取付けないでください。
- ・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
- ・アンテナユニットを取付ける際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

①アンテナユニットの取付けは、アンテナユニット本体裏の  部の両面テープの剥離紙をはがして、ダッシュボード上に取付けてください。

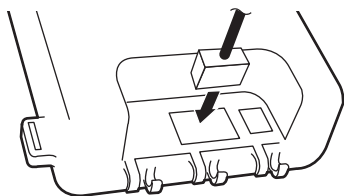
（アンテナユニット裏側）



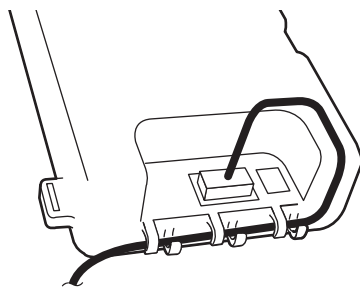
（取付け例）



②アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナコネクターに差込みます。



③アンテナコードをメインユニットのコード固定部にしっかりと固定します。



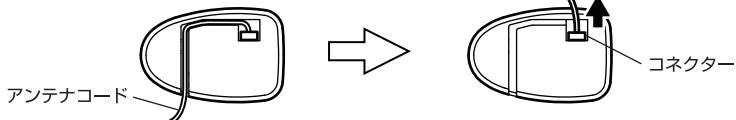
参考

アンテナユニット本体の取外し

アンテナユニット本体裏のアンテナコードの固定を外し、コネクターを押しながら、矢印の方向へ外します。

⚠ 注意 アンテナコードを引っ張らないでください。コードが破損する恐れがあります。

（アンテナユニット裏側）

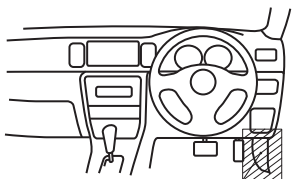


取付け（コネクター接続、アンテナユニットの固定方法）

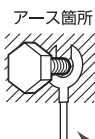
4 アースの取付け

アース端子（黒／白コード）を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

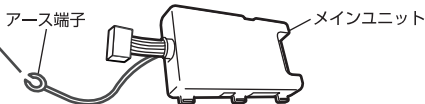
（取付け例）



この部分に取付けできます



注意
アース端子の接続が不完全であると、動作不良となる原因になるため、アース端子の接続には十分に注意してください。また、オーディオ、ナビゲーションなどの他の電装品のアースと同じ場所にアース端子を取付けないでください。この場合も動作不良となる原因になります。

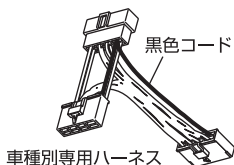


5 専用ハーネスの8Pコネクターとメインユニットの8Pコネクターを接続します。

下記の図①・②から車種別専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。

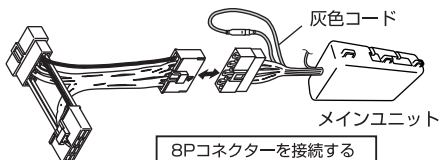
①

車種別専用ハーネスに
黒色コードが1本



黒色コード

車種別専用ハーネス



灰色コード

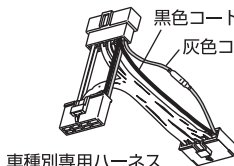
メインユニット

8Pコネクターを接続する

下記の車種別専用ハーネスを使用する場合、灰色コード差替え作業を行わないと車両自体の動作不良（エアコン、オートクルーズ動作不良、ABSランプ点灯など）を起こす恐れがあります。

②

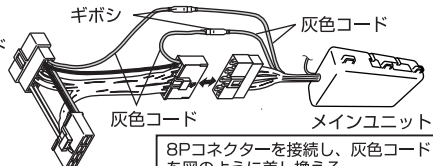
車種別専用ハーネスに
黒色コードが1本
灰色コードが1本



黒色コード

灰色コード

車種別専用ハーネス



ギボシ

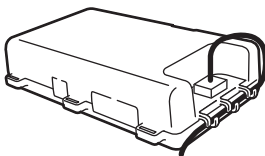
灰色コード

灰色コード

メインユニット

8Pコネクターを接続し、灰色コードを図のように差し換える

6 4の接続が終わると、メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。



ドレミファ
ソラシド♪

※メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合は、再度①～⑤の取付け及び、接続を再確認してください。

取付け (動作確認)

⚠ 注意

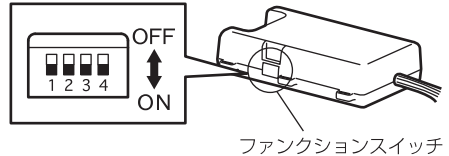
- ・ P6～8の取付け及び接続後、接続確認メロディ音「ドレミファソラシド」を確認してから、必ず下記の動作確認を行ってください。
- ・ お客様の車のバッテリーの交換や、本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合にも下記の動作確認を行ってください。
- ・ 動作確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
- ・ 下記の手順に従って動作確認を行ってください。対処方法はP12を参照してください。

動作確認手順

対処方法

- 1** メインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。但し一部車両は、下記の設定にします。

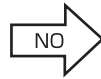
※一部の車両はリモコンでエンジン始動操作をした時、セルがまわらずエンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した時にキーを抜いてエンジンが停止しない場合は、メインユニットのファンクションスイッチNo.3をONにしてください。



- 2** キーをACC (アクセサリ) の位置まで回して、ラジオ等のアクセサリ電源がONになることを確認してください。



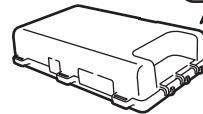
Q:この時、ラジオ等アクセサリ電源がONになりますか？



- 3** キーをONの位置まで回して**ブザー音**が鳴るまでお待ちください。



約10秒以内



Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、メインユニットのブザー音が約10秒以内に「ピッピッ」と鳴りますか？

⚠ 注意

セルを回さずにキーをONで5秒以上停止した場合に、メインユニットから毎回ブザー音が鳴りますが、本体の仕様のため、異常ではありません。

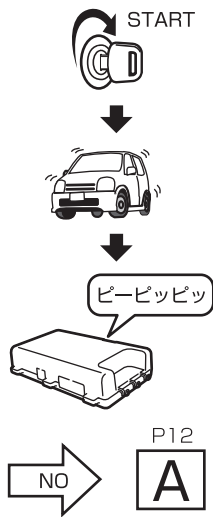


取付け (動作確認)

4 **3** の操作後、10秒以内にエンジンを始動してください。エンジンが始動している状態で約5秒後にメインユニットのブザー音が「ピーピッピッ」と鳴ります。なお、L端子を配線している場合は、ブザー音が「ピーピーピー」に変わります。(P15~16参照)

⚠ 注意

※この操作を行うことにより、車両情報を認識します。
この操作を行わないと、リモコンでエンジンは始動できません。



Q:この時、エンジンが始動しますか？



5 キーをOFFの位置まで回して、キーを抜いてください。



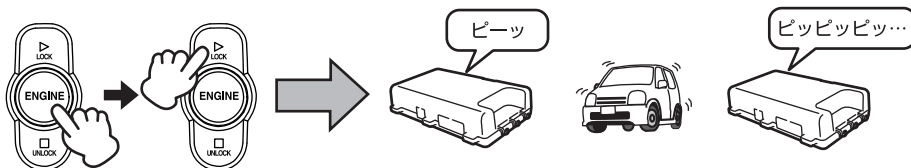
Q:この時、エンジンが停止しますか？



6 リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのLEDランプ (赤) が点滅している間にスタートスイッチ (▶)を押してください。

Q:この時、メインユニットのブザー音が「ピーッ」と1秒間鳴り、エンジンが始動しますか？
また、アイドリング開始後、メインユニットのブザー音が「ピッピッピッ…」と鳴りますか？

※エンジンが始動してもエアコンが効かない場合やオートクルーズ等のランプが点灯する場合は灰色の配線の差替えを行ってください。(P8.5-②)



フットブレーキ配線を
していない場合



フットブレーキ配線を
している場合



取付け (動作確認)

7 エンジン始動中にシフトレバーを[P] (パーキング) 及び[N] (ニュートラル) 以外の位置にしてください。

Q:この時、エンジンが停止しますか？

また、メインユニットのブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」(P/N検出エラー音)と鳴りますか？



- ・エンジンが停止する
- ・ブザー音が鳴る



すべての動作は正常です。

- ・エンジンが停止しない
- ・ブザー音が鳴らない



8 フットブレーキを踏んでください。

Q:この時、メインユニットのブザー音が「ブーブー」(フットブレーキ検出エラー音)と鳴りますか？



すべての動作は正常です。



※再度、エラー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのLEDランプ(赤)が点滅している間にストップスイッチ(■)を押してください。

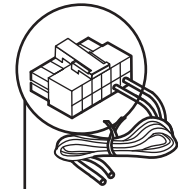
取付け (動作確認対処方法)

下記の[A]～[E]の各対処方法を行った場合は、再度動作確認を**1**から始めてください。

[A]	1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P6～8参照) 2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P6～8参照) 3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？ (車種別専用ハーネス表で確認するか弊社ホームページ http://www.e-comtec.co.jp 車種別適合表にて確認してください。) 4.アースが不安定な場合。 →アースをしっかり固定してください。(P8参照)
[B]	ターボタイマーが作動していませんか？(P41参照) →ターボタイマーの設定を「設定なし」にしてください。
[C]	1.動作不良エラーブザー音が鳴る時 →動作不良エラーブザー音を確認し、エラーを解除してください。(P26～27参照) 2.動作不良エラーブザー音が鳴らない時 →セルが短くエンジンが始動しない場合は、セルストップ時間の調整をしてください。 (P35～37参照) →セル自体回らない場合、スマートキー装着車、インテリジェントキー装着車、イモビライザー装着車の可能性があります。 別売のオプションで対応してください。(P43参照) リモコン電池の電圧を確認後、IDコードの再登録を行ってください。(P45参照)
[D]	フットブレーキ配線を行ってください。(P14参照)
[E]	フットブレーキ配線を確認してください。(P14参照)

取付け（12Pコネクターの接続）

12Pコネクターには下記のオプションを接続することができます。

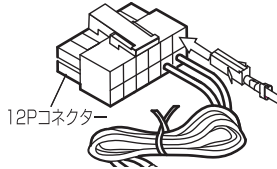


12Pコネクター

12	11	10	9	8	7	上側
6	5	4	3	2	1	下側

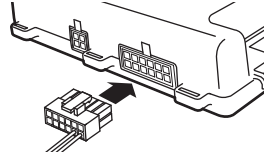
取付け方

①付属12Pコネクターに配線する端子をしっかりと差込みます。
△差替えることができませんので注意してください。



12Pコネクター

②付属12Pコネクターをメインユニットにしっかりと差込んでください。
△オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクターを抜いてから接続してください。



12Pコネクター接続内容

No.	内容	No.	内容
1	フットブレーキ(P14参照)	7	当社別売セキュリティシステム接続 (P17参照)
2	L端子(P15~16参照)	8	ドアアンロック (オプション)
3	オプション1	9	ドアポジション (オプション)
4	オプション2	10	ドアロック (オプション)
5	カーテシ (オプション)	11	ハザード (オプション)
6	未使用	12	Pポジション (オプション)

■フットブレーキ (No.1)

フットブレーキ配線をする場合にフットブレーキ検出線（黄色）を使用します。（P14参照）

■L端子 (No.2)

L端子配線をする場合にL端子検出線（白色）を使用します。（P15~16参照）

■カーテシ (No.5)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)又は、別売カーテシ線(Be-963)を接続するために使用します。リモコンでエンジン始動中、ドアを開けるとエンジンを約15秒後停止又は、即強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。（P23参照）

■当社別売セキュリティシステム接続(No.7)

A-93のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート/ストップ操作をするときに付属のセキュリティシステム接続線（茶色）を使用します。（P17参照）

■ドアアンロック(No.8)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアアンロック線を接続するために使用します。（P20~P22参照）

■ドアポジション(No.9)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアポジション線を接続するために使用します。（P20~P22参照）

■ドアロック(No.10)

当社別売ドアロック配線キット(Be-970)ドアロック線を接続するために使用します。（P20~P22参照）

■ハザード(No.11)

当社別売アンサーフラッシュリレー(Be-968)を接続するために使用します。ドアロック・アンロックするときにハザードが点滅します。

■Pポジション(No.12)

ターボタイマー作動中、シフトレバーが□(パーキング)以外でキーが抜ける車両にPポジション線(Be-963)を接続します。

取付け (フットブレーキ配線)



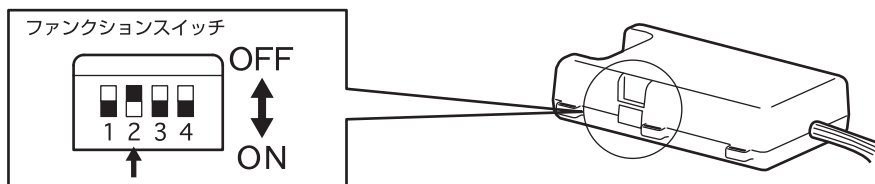
注意

一部の車種は、シフトポジション検出が正常にできない場合があります。その場合は、ファンクションスイッチNo.2をONにしてフットブレーキ配線をしてください。

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

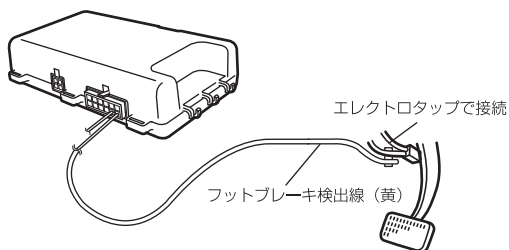
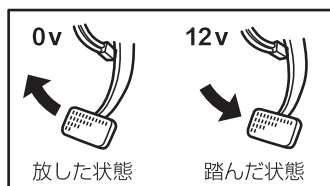
- ・日産の一部車両（Y33系のシーマ、セドリック、グロリアは、パードビューナビゲーション装着車に限る）はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動時または、ターボタイマー作動時にシフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。
- ・シフトレバーがP（パーキング）の位置で、リモコンスタート時にメインユニットからブザー音が「ブーブーブー、ブーブーブー」と鳴った場合。（P/N検出エラー）
- ・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチNo.2をONにしてください。



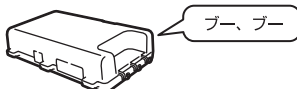
2 メインユニットのフットブレーキ検出線（黄）をフットブレーキへ配線してください。

フットブレーキを放した状態で 0V、踏んだ状態で 12V の線にフットブレーキ検出線（黄）をエレクトロタップで接続します。



※エレクトロタップの使用方法(P5)をご覧ください。

3 リモコンでエンジン始動中、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。（動作不良エラー確認表（P26～27参照）のNo.1のブザー音「ブー、ブー」が鳴っているか確認してください。）



取付け (L端子検出配線)

本機には、2種類(自動検出:L端子検出)のエンジン始動検出方法があります。
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。
セル時間の設定(P35~37参照)をしているのに関わらず、下記のような症状になる場合は、L端子配線を行ってください。

- ・エンジンがかかたり止まったりをくり返す。
- ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

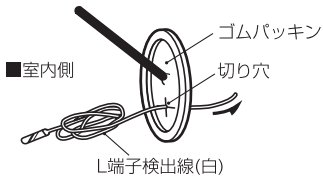
※ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

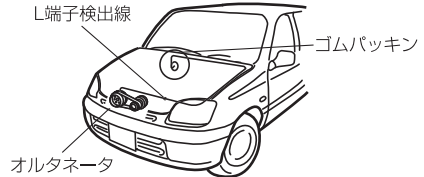


シフトレバーをP(パーキング)にしてキーを抜いてから作業を行ってください。

1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開けL端子検出線(白)を図の様に室内側からいれてください。



2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、本機L端子検出線(白)を配線してください。



3 車のオルタネータにあるL端子線を探して下さい。

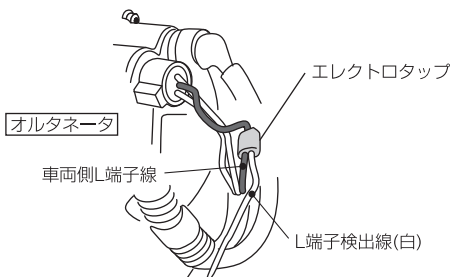
車側L端子の見分け方

	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをかける)
キーの位置		
エンジンの状態	エンジン停止時 	エンジン始動時
電圧	オルタネータ 車両側L端子線 4V以下	電圧の確認はサーキットテスターで確認してください。 6V以上

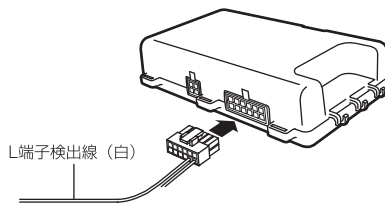
※エンジン始動時6V以下の場合はBe-966が必要です。

取付け (L端子検出配線)

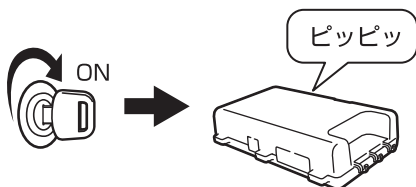
- 4** 車両側のL端子線とL端子検出線(白)を付属のエレクトロタップで接続してください。



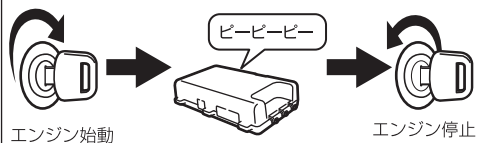
- 5** メインユニットに12Pコネクタを差込んでください。



- 6** キーをONの位置まで回してください。メインユニットのブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 7** **6**の操作後、10秒以内にキーでエンジンを始動してください。エンジンが始動してから約5秒後にメインユニットのブザー音が「ビービービー」と鳴ります。



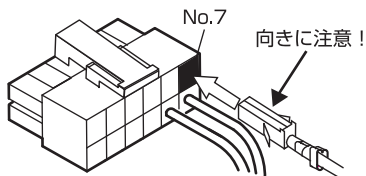
※ **7**のメインユニットのブザー音が鳴らない場合は、再度 **1**から確認してください。

取付け（「当社別売セキュリティシステム」シリーズ運動について）

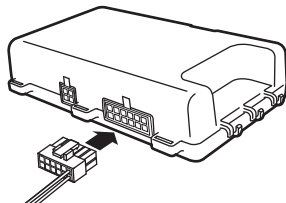
■当社別売セキュリティシステムと接続する

A-93のリモコンで当社別売セキュリティシステムのスタート/ストップ操作ができます。
（当社別売セキュリティシステムと接続するには付属の接続線（茶色）を使用します。）

- 1** 12PコネクターのNo.7に付属の接続線（茶色）をしっかりと差込んで下さい。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

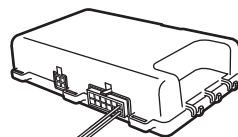


- 2** メインユニットに12Pコネクター差込んで下さい。



- 3** 12PコネクターのNo.7からでている接続線（茶色）と当社別売セキュリティシステムからでている茶色線を接続して下さい。
※ キーONで当社別売セキュリティシステムシリーズが作動停止します。

「当社別売セキュリティシステム」電源検出線（茶）

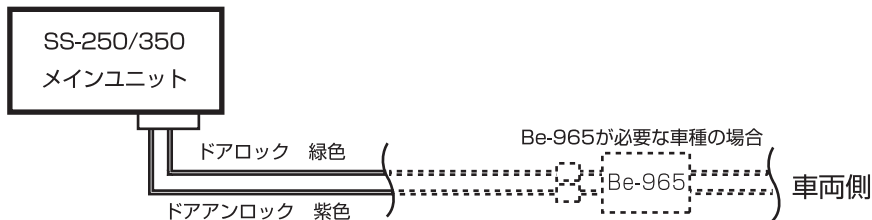


⚠ 注意

一部の当社別売セキュリティシステムはA-93のリモコンでスタート/ストップ操作ができませんので、購入前に必ず「エンジンスターター車種別専用ハーネス適合表」のエンジンスターターリモコンとセキュリティシステムのリモコンの操作互換表をご確認ください。

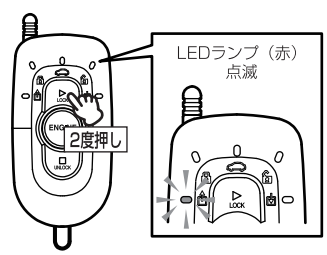
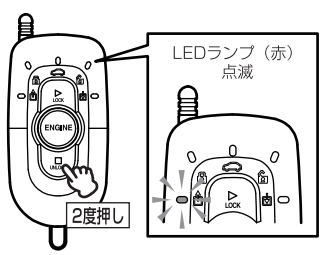
下図のような配線を行うことにより、A-93のリモコン及び当社別売セキュリティシステムのリモコンでドアロック・アンロックさせることができます。
（基本的な車両への接続方法は、P20～P22を参照のこと）

SS-250/350の場合（セキュリティ側で配線を行って下さい。）



取付け (「当社別売セキュリティシステム」シリーズ運動について)

■A-93のリモコンで当社別売セキュリティシステムをスタート/ストップさせる

リモコンの操作方法	
スタートさせる	ストップさせる
<p>1. スタートスイッチ (▶) を押し、LEDランプ (赤) を点滅させ、点滅している間に再度スタートスイッチ (▶) を押します。</p>  <p>2. アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、当社別売セキュリティシステムがスタートします。</p>	<p>1. ストップスイッチ (■) を押し、LEDランプ (赤) を点滅させ、点滅している間に再度ストップスイッチ (■) を押します。</p>  <p>2. アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、当社別売セキュリティシステムがストップします。</p>

※ドアロック配線をしている場合に、セキュリティシステムを作動させるとドアロック機能も連動して作動します。

■警報中の当社別売セキュリティシステムをストップさせる

当社別売セキュリティシステムが作動中又は、警報中の時に、A-93のリモコンストップ操作又は、キーでエンジンを始動すると、作動及び警報が停止します。

⚠ 注意

A-93又は、当社別売セキュリティシステムのリモコンで、セキュリティスタート・ストップ作動させる場合は、誤作動防止とセキュリティ機能向上のために下記の事項をお守りください。

- A-93のリモコンでセキュリティ連動スタートした場合は、必ずA-93のリモコンでセキュリティストップしてください。
- 当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティスタートした場合は、必ず当社別売セキュリティシステムのリモコンでセキュリティストップしてください。

取付け (「当社別売セキュリティシステム」シリーズ連動について)

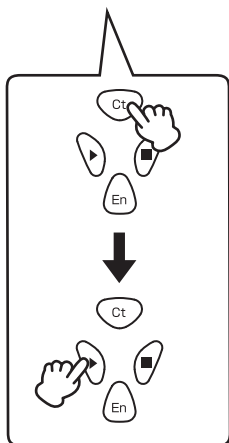
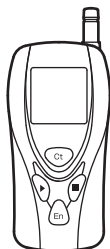
■当社別売セキュリティシステム SS-150, 350, X2000のリモコンでエンジンを始動／停止させる

下記の操作をする場合は、まず最初に必ずP46のIDコード追加登録を行って下さい。

リモコンの操作方法

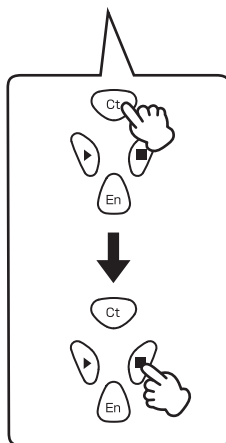
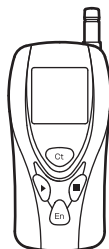
エンジン始動させる

コントロールスイッチ (ct) を押し、待ち受け画面表示中にスタートスイッチ (▶) を押します。



エンジン停止させる

コントロールスイッチ (ct) を押し、待ち受け画面表示中にストップスイッチ (■) を押します。



取付け(ワイレスドアロック機能について) オプションBe-970 が必要になります。

本機リモコンでドアロック・アンロック作動させることができます。

⚠ 注意

一部車両でエンジンスターター又は、ターボタイマーのアイドリング中に、純正のキーレスエントリーが作動できないものがあります。

接続方法

自動車メーカーや車種によってワイレスドアロック接続方法が異なります。また、オプションBe-970以外に別売ワイレスドアロックアダプターを必要とする車種がありますので注意して下さい。

Aタイプ(マイナスコントロール)……オプションBe-970だけで作動するタイプ

Bタイプ(プラスコントロール)……オプションワイレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ
詳しくは、最新のピータイム車種別専用ハーネス適合表をご確認下さい。

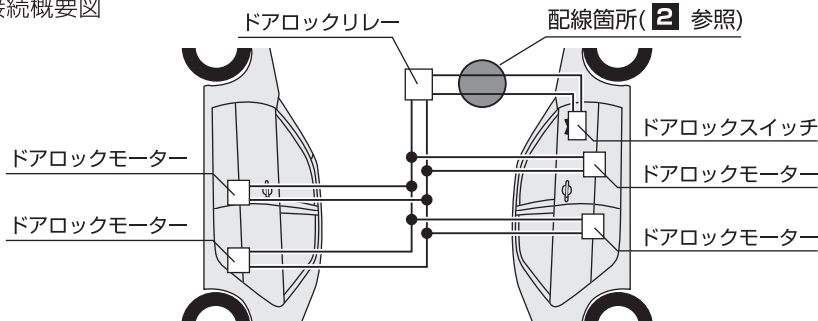
※但し、下記に示す車両には使用できません。

- 弊社車種別専用ハーネス適合表にてドアロック・アンロック作動可能と明記のない車種。
- トヨタ車以外で、純正キーレスがついていない車種。
- 一部多重通信車
- 集中ドアロック制御できない車種。
- 弊社以外のセキュリティシステム装着車(ドアロック連動タイプ)

接続方法

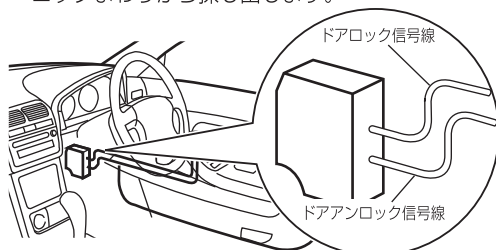
Aタイプ (オプションBe-970のみで)作動するタイプ

1 接続概要図



2 車両側ドアロック・アンロック線を探してください。

ドアロックレシーバー、ドアロックリレー、ドア内へ配線されているハーネス、ドア内の集中ロックまわりから探し出します。



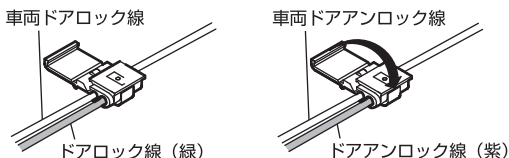
※場所は車種によって異なります。

<p>ロック</p>	<p>ドアロック線 (通常12V)</p> <p>ドアロック動作時→0V 動作後→12V</p>
<p>アンロック</p>	<p>ドアアンロック線 (通常12V)</p> <p>ドアアンロック動作時→0V 動作後→12V</p>

取付け(ワイレスドアロック機能について)

Aタイプの続き

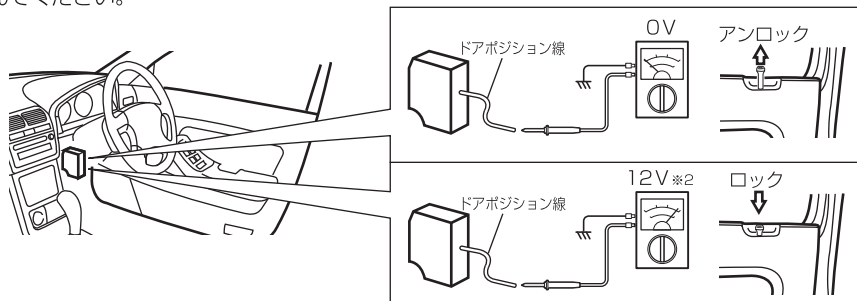
- 3** ドアロック・ドアアンロック線(緑・紫)を項目**2**で探したドアロック線・ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



※確認(必ず行ってください)

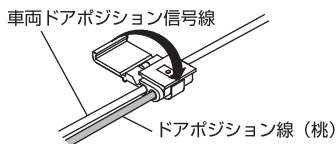
エレクトロタップで接続後、延長線をボディーアースに接触させ、ドアロック、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 4** 項目**3**の確認でドアアンロックが作動しない場合、ドアポジション信号が必要となります。(トヨタ系又はニッサン系の一部車両) ドアアンロックが作動する場合は、項目**6**へ進んでください。



ドアロックノブを操作してロック時に12V※、アンロック時に0Vになる線を探します。
※一部の車種で、パルス信号のため、12V出力しないものがあります。

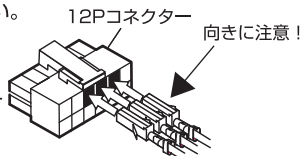
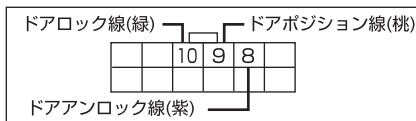
- 5** 項目**4**で探したドアポジション信号線にドアポジション線(桃)をエレクトロタップで接続します。



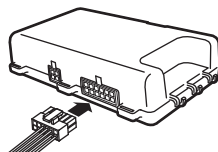
※確認(必ず行ってください)

エレクトロタップで接続後、ドアポジション延長線、ドアアンロック延長線をボディーアースに接触させ、ドアアンロックが作動するか確認します。

- 6** 12PコネクターのNo.8にドアアンロック線(紫)を
// No.9にドアポジション線(桃)を } しっかり差込んでください。
// No.10にドアロック線(緑)を }
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



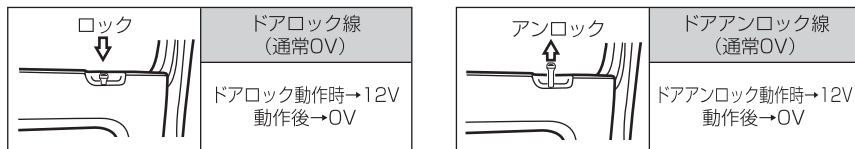
- 7** メインユニットに12Pコネクターを差込んでください。



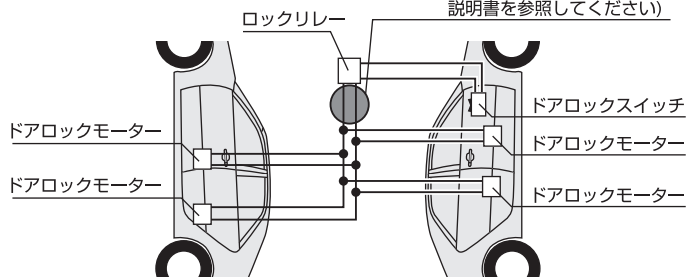
取付け (ワイヤレスドアロック機能について)

Bタイプ 別売Be-970と別売ワイヤレスドアロックアダプター(Be-965)が必要なタイプ

1 接続概要図



接続箇所(詳しくはオプションBe-965取扱
説明書を参照してください)



取付け(カーテシ検出による安全機能) オプションBe-970又はBe-963が必要になります。

- ⚠ 注意 ・多重通信車はカーテシ検出できません。
 ・カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。

■カーテシ検出の設定(P39⑧参照)により、下記の3種類の設定に変更できます。(初期設定は設定1)

設定1…リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、約15秒後にエンジンを停止させる。

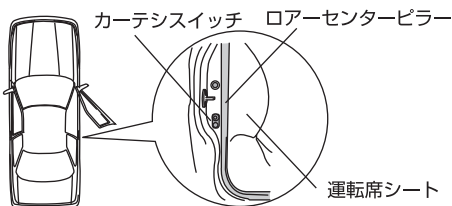
設定2…リモコンでエンジン始動中にドアを開けると、即エンジンを停止させる。

設定なし…リモコンでエンジン始動中にドアを開けても、エンジンは停止しません。

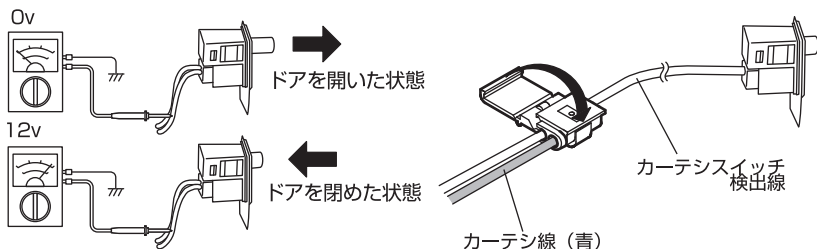
注1.ドアを開けた状態でリモコンでスタートをしても、エンジンは始動しません。必ずドアロックした状態でリモコンでスタートしてください。

注2.設定1の場合に、リモコンでエンジン始動中、ドアを開けて約15秒以内にキーをONの位置まで回すと、エンジン停止はしません。(カーテシ検出による安全機能を強制解除)

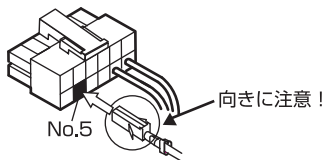
1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーをはずします。



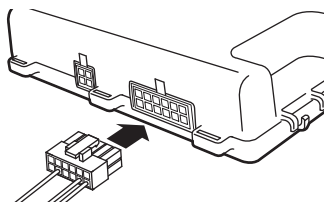
2 車両側カーテシ検出線をテスター等で探し、カーテシ線(青)と車両側カーテシ検出線をエレクトロタップで接続します。



① 12PコネクターのNo.5にカーテシ線(青)をしっかり差込んでください。
 ※一度、差込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



② メインユニットに12Pコネク터를差込んでください。



4 リモコンでエンジン始動後、アイドリング中にドアを開けてから、約15秒後又は、即エンジンが停止するか確認してください。(動作不良エラー確認表(P26~27参照)のNo.9のブザー音「ブープブープ、ブープブープ」が鳴っているか確認してください。)



※ドアを開けて、エンジンが停止しない場合は、接続及びP39⑧の設定を確認してください。

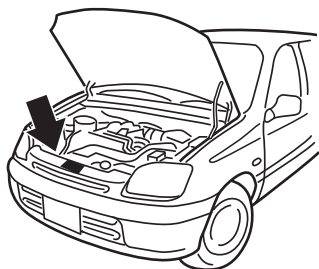
取付け（警告ステッカーの貼り付け場所）

■警告ステッカーについて

- ・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

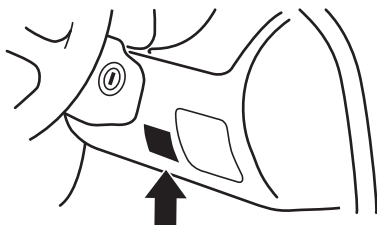
1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

- ・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けにくい目立つ場所に貼り付けます。



2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

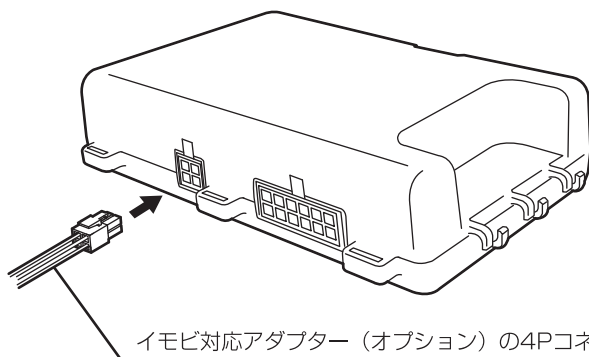
- ・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



取付け（イモビ対応アダプターの取付けについて）

本機は一部のイモビライザー装着車に対してオプション、イモビ対応アダプターを取付けることでA-93のリモコンでエンジン始動させることができます。

※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照ください。



イモビ対応アダプター（オプション）の4Pコネクター

取付け（メインユニットの固定方法）

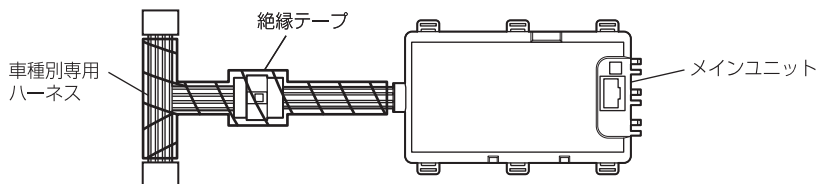
全ての動作が正常と確認できたら、各種配線に絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行ってください。

⚠ 注意 専用ハーネスと車種別専用ハーネスの配線保護について

専用ハーネスと車種別専用ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。各種配線と車両金属部*が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。

また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収める時には、狭いスペースのため、配線がショートしないよう気をつけて収めてください。

*コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダル、その他鉄板など



⚠ 注意

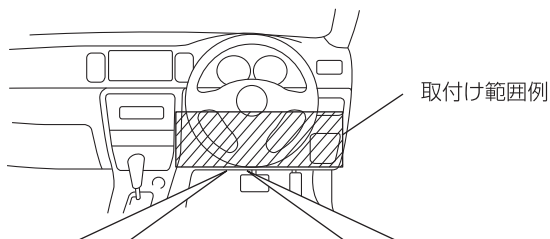
車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良又は、車両故障に関しては当社で一切責任を負いません。

■メインユニットの取付け

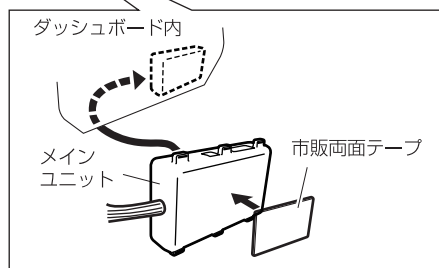
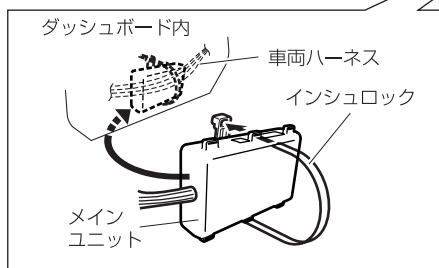
⚠ 注意

- ・メインユニットの固定・配線を行う前に、動作確認を行ってください。（P9～11参照）
- ・エアコンやヒーター等の熱風又は水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、インシュロック又は、市販両面テープでしっかりと固定してください。（ダッシュボード内側等）



取付け例



取付け（動作不良エラー確認表）

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の作動状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名称	内容／解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本機作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 対策 フットブレーキ線の接続を確認してください。(P14参照)
2	ブーブーブー、 ○○○○ ブーブーブー ○○○○	P.N 検出 エラー	本機作動中にシフトレバーを [P] (パーキング) 又は [N] (ニュートラル) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 対策 リモコンでエンジンがかからずに、このエラーになる場合はフットブレーキ配線が必要です。(P14参照)
3	ブッブッ、 ○ ○ ○ ブッブッ ○ ○ ○	Pポジション 検出エラー	Pポジション配線した場合、本機作動中にシフトレバーを [P] (パーキング) 以外に動かしてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 対策 Pポジション線の接続を確認してください。 (オプションBe-963取説参照)
4	ブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ブッブッブッ ○ ○ ○ ○	車両情報未検出 エラー	取付けを行った後、動作確認をもとに確実にキーでエンジン始動させて車両情報の認識を行ってください。
5	ブッ、ブッ ○ ○	ACC検出 エラー	本機作動中にキーをONまで回さずにACCで止めてエンジンがストップした時の状態。解除するには、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。
6	ブーブッ、 ○○ ブーブッ ○○	L端子配線 違いエラー	L端子以外の線に間違っ配線したときの状態。解除するには正しく配線後、再度リモコンでスタートさせるかキーをONの位置まで回してください。 対策 L端子配線の確認をしてください。(P15～16参照)

※○は約0.2秒を示します。○は約1秒を示します。○○は約2秒を示します。

※再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのLEDランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

取付け（動作不良エラー確認表）

No.	ブザー音	名称	内容／解除方法
7	ブーブッブッ、 ○ ○ ○ ブーブッブッ ○ ○ ○	リモコンID 未登録	リモコンでID登録してください。
8	ブッブブブー、 ○ ○ ○ ブッブブブー ○ ○ ○	エンジン始動 検出エラー	<p>リモコンでエンジンをスタート後、連続して3回セルを回すか、または連続して3回エンジンを始動させた状態（1回でエンジンがかからない状態）。解除するには、キーをON位置まで回してください。</p> <p>対策</p> <p>①エンジンが始動するまでセルが回らない場合 セルストップ方式がオートの設定の場合はセル延長時間を現状の設定より延長、マニュアルの場合はセルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。（P35～37参照）</p> <p>②イモビライザー装着車の場合 イモビ対応アダプター適合可能な車種の場合、イモビ対応アダプターを取付けてください。（P24参照）</p> <p>③エンジン始動検出が自動検出できない場合 L端子配線の確認をしてください。（P15～16参照）</p> <p>④インテリジェントキー装着車の場合 インテリジェントキー対応ハーネスの適合車種であればインテリジェントキー対応ハーネスを取付けてください。（P43参照）</p>
9	ブーブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ブーブッブッ ○ ○ ○ ○	カーテシ検出 エラー	<p>カーテシ配線した場合、リモコンでエンジン始動中ドアを開いてエンジンが停止したときの状態。解除するには、ドアを閉めて再度リモコンでエンジン始動するか、キーをONの位置まで回してください。</p> <p>注意</p> <p>車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。</p>
10	ブーブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ○ ブーブッブッブッ ○ ○ ○ ○ ○	通信エラー	<p>アンテナユニットとメインユニット間の通信に異常がある状態。</p> <p>対策</p> <p>接続ケーブルの接続不良、差込み状態を確認してください。接続ケーブルの断線の可能性もあります。</p>

※○は約0.2秒を示します。○は約1秒を示します。○は約2秒を示します。

※再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのLEDランプ（赤）が点滅している間にストップスイッチ（■）を押してください。

リモコンの使用法 (エンジンを始動させる)

■エンジンを始動させる

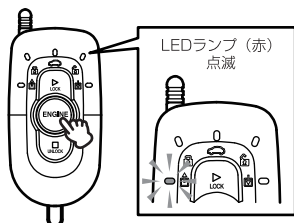
リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間 (P34参照) が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

⚠注意

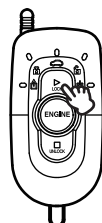
- ・リモコン操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時は必ず下記動作を行ってリモコンのLEDランプが点滅・点灯するか確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行ってください。
- ・車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。

リモコンの操作方法 (エンジン始動させる)

- 1** エンジンスイッチを押し、LEDランプ (赤) を点滅させます。

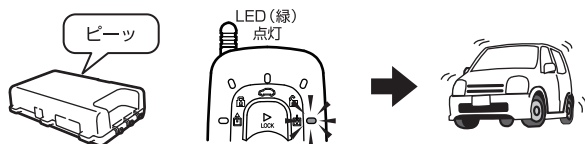


- 2** LEDランプ (赤) が点滅中にスタートスイッチ (▶) を押します。



- 3** アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような動作をし、エンジンが始動します。

- ・メインユニットからブザー音が「ピーツ」と1秒間鳴ります。
- ・リモコンのLEDランプ (緑) が点灯します。



※ アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのLEDランプ (緑) は点灯しません。(アンサーバック音をメロディ又は、ブザーに選択した場合はNG音が鳴ります。)

- 4** エンジンが始動すると、アンテナユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波 (アンサーバック信号) を送ります。※1

リモコンが電波 (アンサーバック信号) を受信すると、リモコンのLEDランプが全て点滅します。※2

※1 リトライでエンジンを始動した時は、リモコンへの電波 (アンサーバック信号) は送信されません。その場合は、P29の「エンジンが始動しているか確認する」をご確認ください。

※2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、LEDランプが全て点滅 (アンサーバック) しないことがあります。



次ページへ

リモコンの使用法 (エンジンを始動させる)

前ページのつづき



- 5** エンジン始動後、アイドリングを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピッピッピッ…」と連続して鳴ります。



※アイドリング時間中のブザー音は消音できません。

- 6** リモコン操作でエンジン始動中に、キーをONまで回すと、メインユニットのブザー音が「ビビビ」と鳴ります。



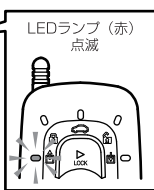
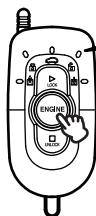
リモコンの使用法 (エンジンを停止させる)

■エンジンを停止させる

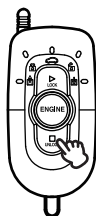
リモコンでエンジン始動中又は、ターボタイマー作動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

リモコンの操作方法 (エンジン停止させる)

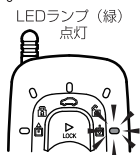
- 1** エンジンスイッチを押しLEDランプ (赤) を点滅させます。



- 2** LEDランプ (赤) が点滅中にストップスイッチ (■) を押します。



- 3** アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、リモコンのLEDランプ (緑) が点灯し、エンジンが停止します。



※アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのLEDランプ (緑) は点灯しません。(アンサーバック音をメロディ又は、ブザーに選択した場合は、NG音が鳴ります。)

エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、P28～29の「リモコンでエンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。

エンジンがかかっている場合は、LEDランプが全て点滅します。

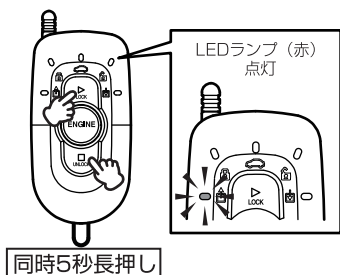
エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

※ リモコンのLEDランプが全点滅 (アンサーバック) しない場合は、場所によっては周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなっている可能性があります。また、車両電気ノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が短くなる場合があります。

リモコンの使用法(アンサーバック音の切替えについて)

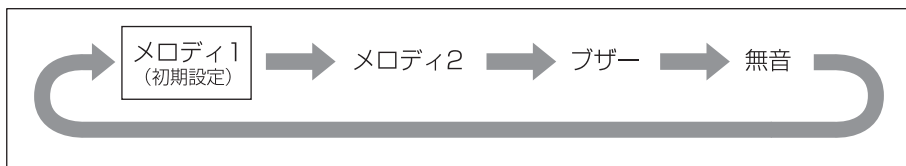
リモコンのアンサーバック音を、メロディ1/メロディ2/ブザー/無音の中から選択することができます。(初期設定は、メロディ1)

1. スタートスイッチ(▶)と、ストップスイッチ(■)を同時に5秒長押しします。



LEDランプ(赤)が点灯し、アンサーバック音が鳴ります。

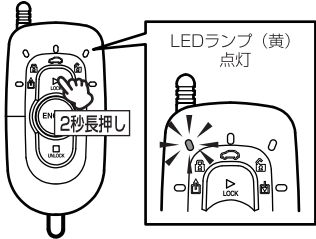
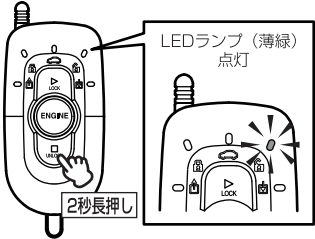
● スタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を同時5秒長押しする度にメロディ1 → メロディ2 → ブザー → 無音の順で切り変わります。



- メロディ1を選択した場合メロディ音1が鳴ったら止めます。
- メロディ2を選択した場合メロディ音2が鳴ったら止めます。
- ブザーを選択する場合ブザー音(ピーツ)が鳴ったら止めます。
- 無音を選択する場合ブザー音(ピツ)と鳴ったら止めます。

リモコンの使用方法 (ワイレスドアロック機能の使用方法)

■使用方法

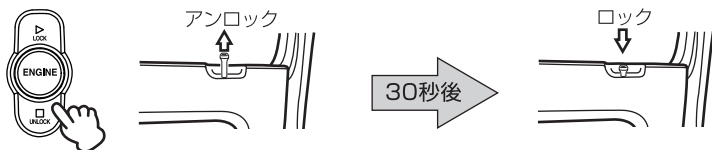
ドアをロックさせる	ドアをアンロックさせる
スタートスイッチ (▶) を2秒長押し、LEDランプ (黄) を点灯させます。	ストップスイッチ (■) を2秒長押し、LEDランプ (薄緑) を点灯させます。
	

■オートロック機能について (初期設定は設定無し)

⚠ 注意

本機リモコンでドアをアンロックした時に、約30秒後に自動的にドアをロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定1」又は「設定2」にした場合、本機のリモコンでドアをアンロックした時に、アンロックして約30秒後に自動的にドアをロックする機能です。



2度押し 又は 2秒長押し

オートロック機能には下記の3種類の設定 (解除) があります。

設定1……リモコンでドアをアンロックした後に、約30秒以内にキーをONするか、いずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動解除ができます。(カーテシ配線が必要です。)

設定2……リモコンでドアをアンロックした後に、約30秒以内にキーをONするとオートロック機能の作動解除ができます。

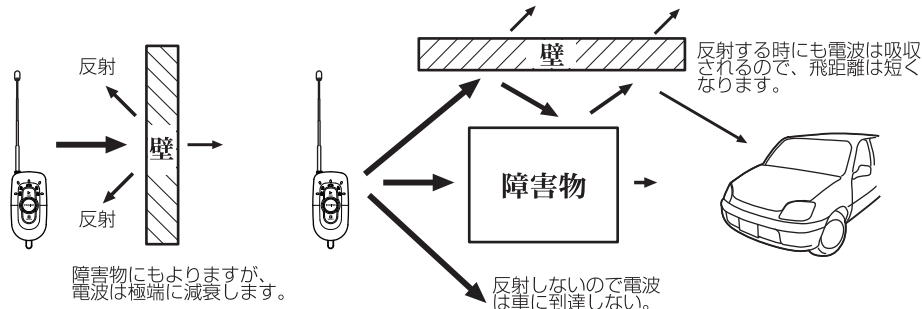
設定なし……オートロック機能は作動しません。(初期設定)

設定方法の詳細は、P38⑦を参照してください。

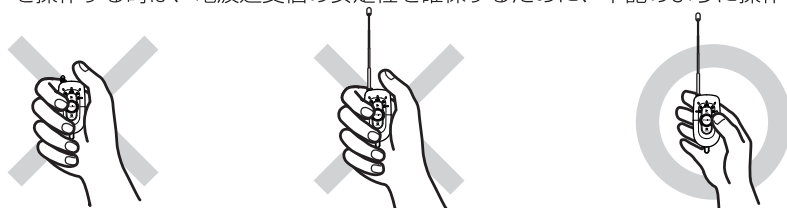
リモコンの使用法 (電波特性/電池交換について)

■電波特性 (電波飛距離について)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する。)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛び場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。
- リモコンは垂直に立てて操作してください。

■電池交換のしかた

電池は、下図の手順にしたがって、+/-の向きを間違えないように交換してください。

<p>1.電池カバーのネジを外して、電池カバーの上側を外し、矢印の方向へ取り外します。</p> <p>① ②</p>	<p>2.古い電池を取り出し新しい電池 (CR2032×2個) を+を上にして矢印の方向から入れます。</p> <p>⚠ +端子が電池の上になるようにセットします。</p> <p>+ +端子</p>	<p>3.電池カバーの下側をはめて、矢印の方向に取付け、ネジを締めます。</p> <p>① ②</p>
--	---	---

⚠注意

- ・指定電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
- ・電池寿命の目安は、新品の電池で1日2回の操作で約半年です。*使用する条件によって異なります。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

機能設定(ファンクションスイッチ設定について)

■ファンクションスイッチ設定について (工場出荷時は全てオフに設定)

ファンクションスイッチで下記のような設定にすることができます。

No	スイッチのはたらき	内容	OFF	ON
1	Pポジション検出 (※1)	Pポジション線の電圧が0Vの車はON。 12Vの車と配線しない場合はOFFにします。	通常	0V
2	フットブレーキ配線	フットブレーキ配線する場合、ONにします	配線しない	配線する
3	IG入力検出の選択 (※2)	キー入力の検出がIG2の車種はONにします。 (通常はOFFにします)	IG1 (通常)	IG2
4	ディスプレイモード	ディスプレイモードを設定します。	無効 (通常)	有効

※1 一部の車両で本製品をつけることによりエンジンを停止する時に、シフトレバーがP(パーキング)、N(ニュートラル)位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP(パーキング)の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。

※2 特殊な場合 (一部車両) を除きファンクションスイッチNo.3をONする必要はありませんが、下記の場合にONしてください。

一部の車両はリモコンでかけた時にセルがまわらず、エンジンが始動しない場合やターボタイマーを使用した場合にキーを抜いてもエンジン停止しない時。

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

■リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について

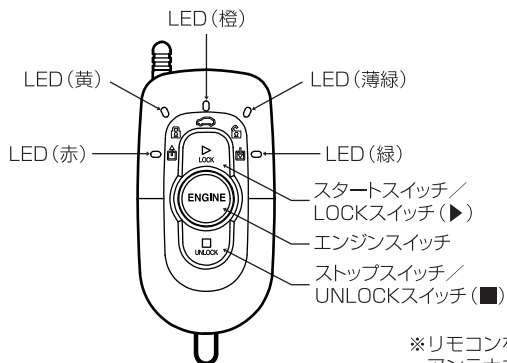
リモコンスイッチで下記の設定をすることができます。

- ①アイドリング時間
- ②ターボタイマー
- ③セルストップ方式
- ④セル延長時間 (セルストップ方式をオート設定時のみ有効)
- ⑤セルストップ時間 (セルストップ方式をマニュアル設定時のみ有効)
- ⑥グロー時間
- ⑦オートロック
- ⑧カーテン検出
- ⑨WARNINGランプ

⚠ 注意

- ・設定モードで20秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- ・設定を変更し、設定登録の操作を行わないと、変更された設定内容は全て無効になります。

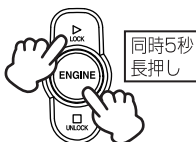
機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)



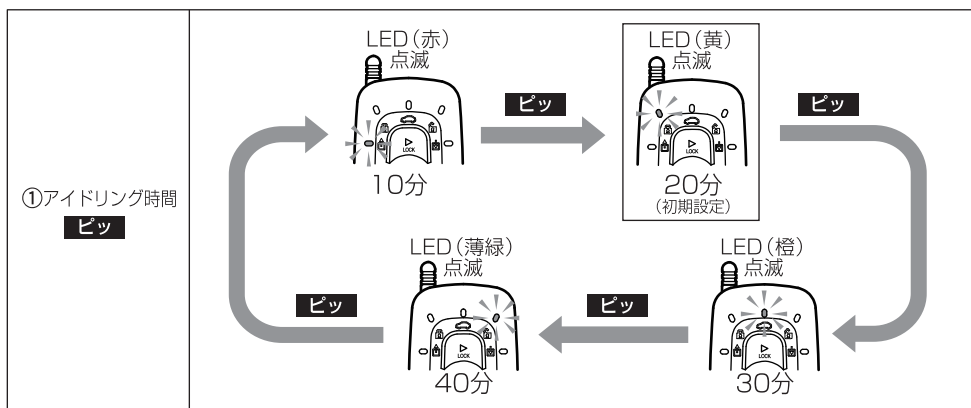
※リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。

設定開始

エンジンを停止し、キーを抜いた状態でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチ (▶) を5秒間同時に長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



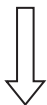
↓	スタートスイッチ (▶) 1回押し
→	ストップスイッチ (■) 1回押し



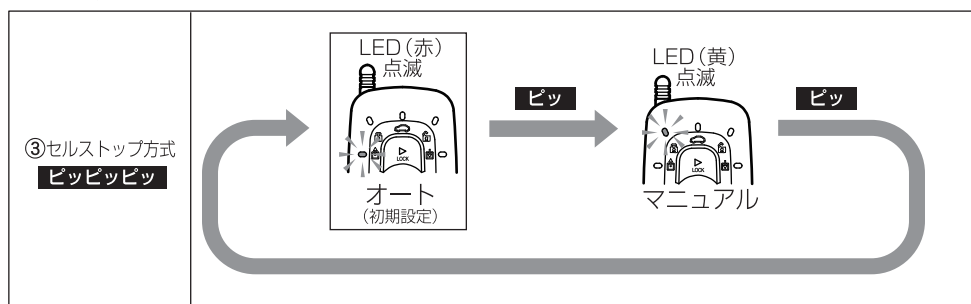
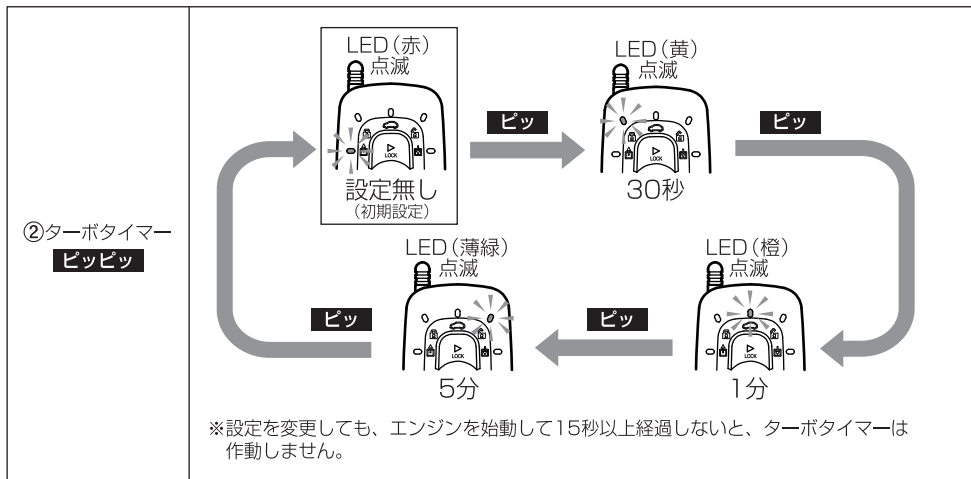
次ページへ

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

前ページにつづき



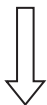
	スタートスイッチ (▶) 1回押し
	ストップスイッチ (■) 1回押し



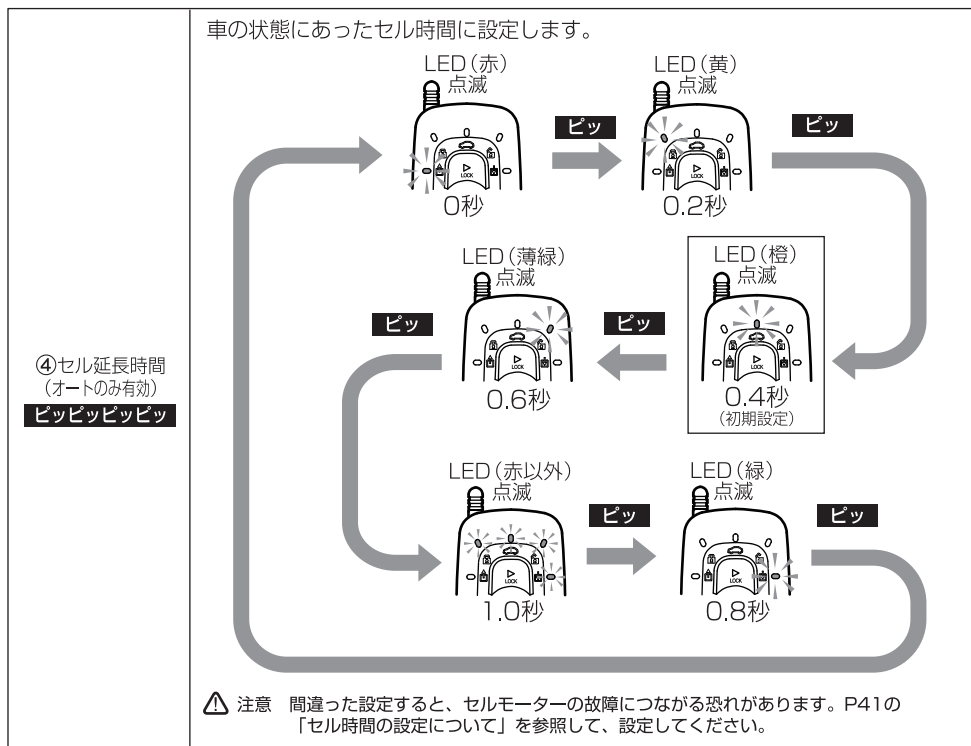
次ページへ

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

前ページのおつづき



	スタートスイッチ (▶) 1回押し
	ストップスイッチ (■) 1回押し



次ページへ

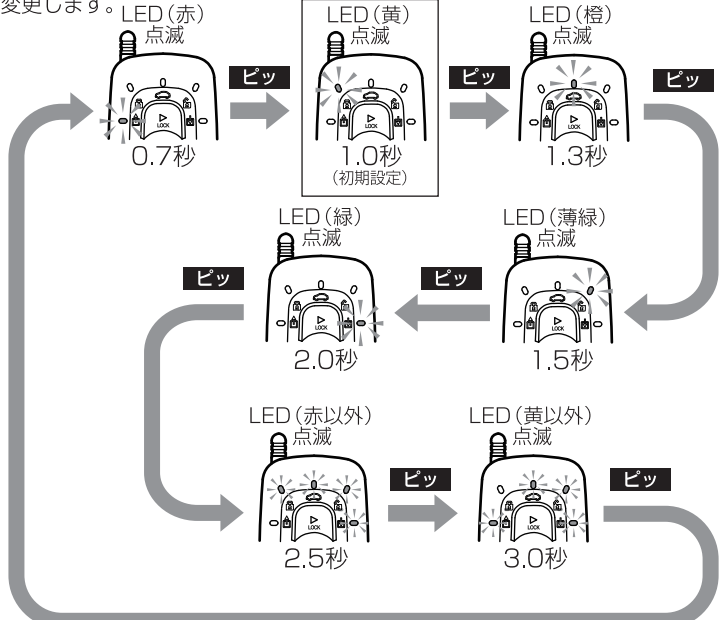
機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

前ページのつづき



	スタートスイッチ (▶) 1回押し
	ストップスイッチ (■) 1回押し

セルモーターのひきずりがある場合や、エンジンが始動しにくい場合に設定を変更します。LED (赤) 点滅



⑤セルストップ時間
(マニュアルのみ有効)

ビー

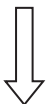
⚠ 注意 間違った設定すると、セルモーターの故障につながる恐れがあります。P41の「セル時間の設定について」を参照して、設定してください。



次ページへ

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

前ページにつづき



	スタートスイッチ (▶) 1回押し
	ストップスイッチ (■) 1回押し

IGをONからセルをスタートさせるまでの時間（グロー時間）を設定します。

⑥グロー時間※

ピーピー

※ガソリン車は5秒に設定します。ディーゼル車の一部車両は8秒に設定します。
リモコンでエンジン始動して、問題がない場合は、設定の変更は不要です。



⑦オートロック

ピーピーピー

設定1…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにするか、ドアを開けると、オートロックが解除します。（カーテシ配線が必要です。）
設定2…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内にキーをONにすると、オートロックが解除します。（ドアを開けても、オートロックは解除できません。）



次ページへ

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

前ページのつづき



	スタートスイッチ (▶) 1回押し
	ストップスイッチ (■) 1回押し

⑧カーテシ検出
ピーピーピーピー

設定1…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると約15秒後にエンジンを停止します。
設定2…リモコンでエンジン始動中、ドアを開けると即、エンジンを停止します。

△ 注意 カーテシ配線を行った場合、車両によりルームランプ点灯中はエンジンを始動することができません。ルームランプが消灯してからエンジンを始動してください。



⑨WARNINGランプ
ピーピーピーピー

設定1…リモコンのスタートスイッチ (▶) 2度押し (セキュリティモードスタート) するとWARNINGランプが点滅、リモコンのストップスイッチ (■) 2度押し (セキュリティモードストップ) すると消灯します。(セキュリティモード連動)
設定2…キーをOFFするとWARNINGランプを点滅、キーをONするとWARNINGランプを消灯します。(キー連動)



①に戻る

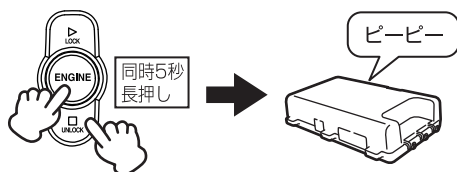
備考: ■はリモコンからのブザー音を示します。

機能設定(リモコンスイッチでの各種設定内容の変更方法について)

設定登録

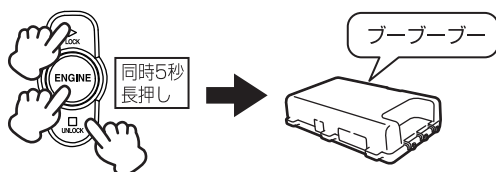
リモコンのエンジンスイッチとストップスイッチ (■) を5秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。



オールリセット (初期設定) にする

設定モード状態でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を5秒間同時に長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。



機能設定(ターボタイマーとセル時間の設定について)

■ターボタイマーについて（初期設定は設定なし）

エンジンを始動してから15秒以上経過し、キーをOFFにした場合にターボタイマーが作動します。

ターボタイマー時間（アフターアイドル時間）の設定を下表の4段階に変更できます。（設定方法の詳細はP35②参照）

ターボタイマー時間
約0秒（設定なし）
約30秒
約1分
約5分

⚠注意

- 一部の車両で本製品をつけると、エンジンを停止時にシフトレバーがP（パーキング）、N（ニュートラル）位置以外でキーがOFFまで回りキーが抜けてしまい、ターボタイマー使用時に車両が動きだしてしまう可能性があります。その場合、オプション(Be-963又はBe-973)等が必要になる場合があります。また、エンジンを止める時は必ずシフトレバーがP（パーキング）の位置にあることを確認してからエンジンを止め、キーを抜いてください。
- ターボタイマー作動時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、ターボタイマー作動中はヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、ターボタイマーを作動させてください。

ターボタイマーを停止するには？

ターボタイマー作動中に下記のいずれかの動作を行うとエンジンが停止します。

- フットブレーキ配線（P14）を行っている場合、フットブレーキを踏みます。
- リモコンのエンジンスイッチを押してLEDランプ（赤）が点滅中にストップスイッチ（■）を押します。
- キーをACCの位置で約3秒以上待ちます。

■セル時間（セルストップ方式、セル延長時間、セルストップ時間）の設定について

セルストップ方式の設定をオート又はマニュアルにし、オートはセル延長時間、マニュアルはセルストップ時間を設定することで、エンジンの始動しやすい車両状態に設定できます。（設定方法の詳細はP35～37参照）

⚠こんなときは

エンジンスタートするがセルをひきずる場合

セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より短めに設定し、それでもひきずる場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より短めに設定してください。

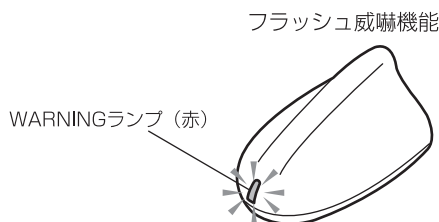
セルしか回らずエンジンがかからない場合

セルストップ方式がオートの場合は延長時間を現状の設定より長めに設定し、それでもセルが短い場合はセルストップ方式をマニュアルに設定して、セルストップ時間を現状の設定より長めに設定してください。

機能設定(セキュリティ威嚇LEDについて)

■セキュリティ威嚇LEDとは

アンテナユニット内蔵WARNINGランプ(赤)が点滅することにより不審者に対し心理的威圧感を与えるフラッシュ威嚇機能を採用しています。



■セキュリティ威嚇LEDの設定

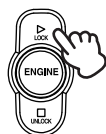
アンテナユニットWARNINGランプの設定(P39⑨参照)により、下記の2種類の設定に変更できます。

初期設定は「設定1」に設定されています。

設定1(リモコン操作)

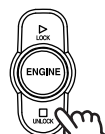
リモコンのスタートスイッチ(▶)2度押し(セキュリティ威嚇LEDスタート)するとWARNINGランプが点滅、リモコンのストップスイッチ(■)2度押し(セキュリティ威嚇LEDストップ)すると消灯します。(セキュリティ威嚇LED連動)

(セキュリティ威嚇LEDスタート)



2度押し

(セキュリティ威嚇LEDストップ)



2度押し

設定2(キー連動)

キーをOFF(セキュリティ威嚇LEDスタート)にするとWARNINGランプが点滅、キーをON(セキュリティ威嚇LEDストップ)にすると消灯します。

※設定2の場合は、リモコン操作ではWARNINGランプを点滅及び消灯ができません。

(セキュリティ威嚇LEDスタート)



OFF

(セキュリティ威嚇LEDストップ)



ON

⚠ 注意

- ・リモコンでエンジン始動中、スタートスイッチ(▶)を2度押しした場合、リモコンのLEDランプが全て点滅します。
- ・リモコンでエンジン始動中、ストップスイッチ(■)を2度押しした場合、リモコンのLEDランプが全て点滅します。

その他（オプションについて）

本機は以下のオプションを取付け可能です。

品番	品名	使用目的
Be-963	カーテシ線 (Pポジション線兼用)	リモコンでエンジン始動時に車両のドアを開けるとエンジンを強制的に停止します。又オートロック解除やターボタイマー中にシフトがPキッキングの位置にない場合にエンジンを強制的に止めます。※一部車両で取付けの出来ない場合があります。
Be-965	BeTime/ 当社別売セキュリティシステム ワイヤレスドアロックアダプター	ドアロック配線の出力信号を12V出力方式に反転させます。 ※対応車種はハーネス適合表の「ワイヤレスドアロック機能配線方式」欄を参照してください。
Be-966	L端子検出アダプター	L端子信号の電圧が低くL端子検出ができない車両に取付け、L端子信号の検出を可能にします。
Be-968	アンサーフラッシュリレー	BeTimeのリモコンによるロック・アンロック/ セキュリティスタート・ストップ時に、車両のハザードなどを点滅させます。 ※商品により点滅動作できる機能は異なります。
Be-969	セルカット イモビライザーユニット	BeTimeのリモコン操作で車両のセル始動を制御します。
Be-970	ワイヤレス ドアロック配線キット	ワイヤレスドアロック機能の追加可能な商品でワイヤレスドアロック機能を追加する際に、必要になります。
Be-974	多重通信ドアロック アダプター	ドアロック信号が多重通信で行われている車両に取付けることにより、本機でのドアロックが可能になります。
Be-IL01T, Be-IL02T, Be-IL03T, Be-ILW04T, Be-ILW05T, Be-IL31H, Be-IL32H, Be-IL501, Be-IL502, Be-IL503, Be-IL504	イモビ対応アダプター	イモビライザー装備車に取付けることによりBeTimeの使用（エンジン始動）が可能になります。※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。
Be-IL21N Be-IL22N Be-IL23N	インテリジェントキー 対応ハーネス	インテリジェントキー装備車に取付けることによりBeTimeの使用（エンジン始動）が可能になります。※対応車種はハーネス適合表の「イモビ対応アダプター」欄を参照してください。

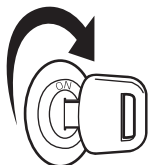
運転するには

■運転するには

本機でエンジンを始動した状態だけでは走行できません。

運転する時は、必ずキーをONの位置まで回してから走行してください。

※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。



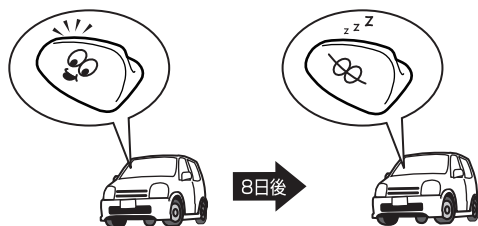
⚠ 注意

- ・リモコンでエンジン始動中、キーをSTARTの位置まで回すと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
- ・リモコンでエンジン始動中、キーをONの位置まで回さずにACCの位置で止めると、安全機能が働き、約3秒後にエンジンが自動停止します。

スリープ機能について

車を使用しない状態が8日間以上続くと、バッテリーの消費を抑えるスリープ機能が働きます。

スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除する時は、1度キーでエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜いておきます。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下している時は、キーで始動する場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このような時はバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- ・寒冷地ではL端子配線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- ・車のバッテリー交換を行った場合は再度P9～12の動作確認を必ず行ってください。

IDコードの再登録

IDコードとは

リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。

以下の場合にIDコードを再登録してください。

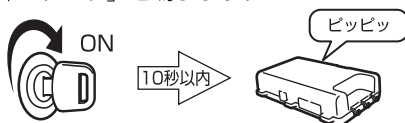
①リモコンを紛失または破損した場合

メインユニットを交換することなく、新しいリモコン（別売）を購入していただき、「IDコード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。別売リモコン オープン価格

②お客様の車のバッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした時に、リモコンでエンジン始動ができなくなった場合

■IDコードの再登録方法

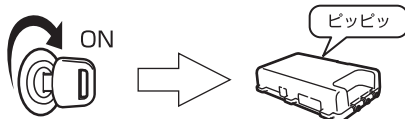
操作1.キーを OFFの位置からONの位置まで回してください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



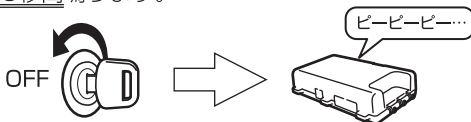
操作2.操作1のブザーが鳴ってから5秒以内に、キーをOFFの位置へ回してください。



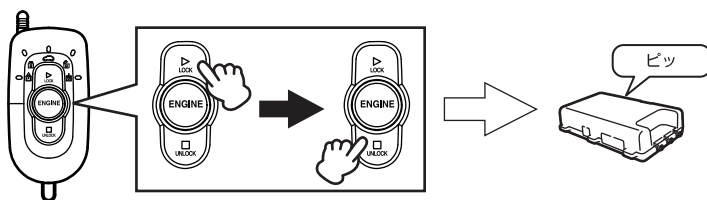
操作3.キーをOFFの位置へ回してから5秒以内に、再度ONの位置まで回してください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



操作4.キーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。



操作5.操作4のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチ(▶)を押して、リモコンのLEDランプ(赤)が点滅している間に、ストップスイッチ(■)を押してください。メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

IDコードの追加登録 (A-93リモコン又はセキュリティシステムリモコン追加)

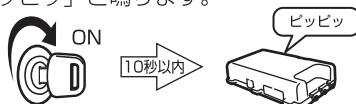
付属のリモコン以外に、もう1つ追加するA-93リモコン又は、セキュリティシステム (SS-150, 350, X2000) のリモコン※を追加して使用することができます。(付属のリモコンを含め合計2個まで)

※セキュリティシステムを取付けている場合に、セキュリティシステムのリモコンのID追加登録をすれば、A-93操作とセキュリティシステムの操作の両方の操作がセキュリティシステムのリモコン1つで可能です。

■IDコードの追加登録方法

操作1～4までは追加するA-93リモコン及び、セキュリティシステムのリモコン共に同操作で行います。

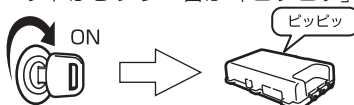
操作1. キーを OFFの位置からONの位置まで回してください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



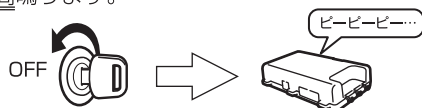
操作2. 操作1のブザーが鳴ってから5秒以内に、キーをOFFの位置へ回してください。



操作3. キーをOFFの位置へ回してから5秒以内に、再度ONの位置まで回してください。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

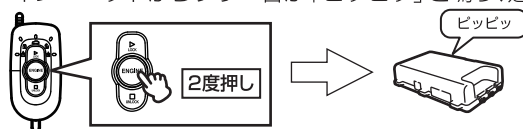


操作4. キーを再度OFFの位置へ回してください。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴ります。



操作5. (追加するA-93リモコンの場合)

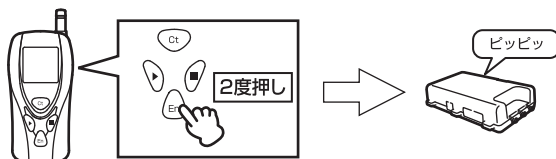
操作4のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチを押して、リモコンのLEDランプ (赤) が点滅している間に、もう一度エンジンスイッチを押してください。メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。



操作5. (セキュリティシステム SS-150, 350, X2000のリモコンの場合)

操作4のブザーが10秒間鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチを2度押ししてください。

メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はキーでエンジン始動後、初めからやり直してください。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・車種別専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	—
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P6~8
	・アースはとれていますか？	・アースを確実にとってください。	P8
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P32
	・動作確認 (P9~12参照) は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？	・メインユニットのIDコードが消失している可能性があるため、IDコードを再登録 (P45参照) し、動作確認を行ってください。	P9~12
	・メインユニットからアンテナコネクタが抜けていませんか？	・アンテナコネクタを確実に接続してください。	P7
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・車種別専用ハーネスは車に適合していますか？	・適合した専用ハーネスをご使用ください。	P6
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P6, 8
	・バッテリー交換後、キーで一度エンジン始動しましたか？	・車両情報未検出エラーの可能性が あります。キーでエンジンを始動 してください。	P26
	・何らかの動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？ (P26~27参照)	・P26~27の動作不良エラー確認表を参照し、動作確認を行ってください。	P9~12
	・イモビライザー装着車ですか？	・イモビ対応アダプター適合可能な場合は、イモビ対応アダプターを取付けてください。	P24
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか？	・「アイドリング設定」を参照し確認してください。	P34
	・アースは確実に接続されていますか？	・アース線が確実にアースポイントに、接続されているかを確認してください。	P8
	・リモコンでエンジン始動中、キーを入れて、ACCの位置で止めていますか？	・正常です。 ACC検出機能が働いて、エンジンを停止します。	—

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
ターボタイマーが作動しない。 (ACC電源も切れる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか？（初期設定は設定無し）	・「ターボタイマー設定」を参照し設定してください。	P35
	・エンジン始動後、15秒以内にキーをOFFにしていますか？	・エンジン始動後、15秒以上経過してから、キーをOFFにしてください	—
	・動作不良エラーのブザー音が「ブーブー」と鳴っていませんか？（P26参照）	・フットブレーキ検出が正常の場合、キーをOFFする時に、約5秒以上フットブレーキを踏んでいる可能性があります。（キーをOFFする時は、約5秒以上フットブレーキを踏まないでください。）	—
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P32
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P32
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか？ ※電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。 (金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等)	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。（「電波の到達距離について」を参照）	P32
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P32
エンジンが始動しない	・バッテリーを交換しましたか？ ・本機の付け替えをしましたか？ ・車種別専用ハーネスを外しましたか？	・IDコードを再登録（P45参照）し、動作確認を行ってください。	P9~12
	・3回リトライをしていませんか？	・L端子配線を行ってください。	P15~16
	・気温は低くないですか？	・気温が低いとエンジン自体のかがりが悪いため、セル時間の設定を少し長めに設定してください。 ・セル延長時間を現状の設定より、長くしてください。	P35~37
その他	・動作が不安定	・アースを別の場所へ取り直してください。	P8

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせていただきます。

■保証期間

ご購入日から3年間です。（リモコンは1年間）

■修理を依頼されるとき

「取付け（動作確認）」(P9～12)と「故障かな?と思ったら」(P47～48)を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない時は販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

別売リモコン（オープン価格）を再度購入された場合は、「IDコードの追加登録」をご覧ください、IDコードの再登録を行ってください。（P45参照）

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機（リモコン）

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm (25℃) で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵ロッドアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
ケース寸法	34 (W) ×65.5 (H) ×16.2 (D) mm
重量	32g (電池含む)

■アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数変移	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以内
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm (25℃) で安定動作
送受信アンテナ	1/4λ ホイップアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+70℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
ケース寸法	46.8 (W) ×56 (H) ×19 (D) mm
重量	38g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	30A×2 (IG1) 20A×4 (IG2・ACC・ST1・ST2)
寸法	67 (W) ×115 (H) ×28 (D) mm
重量	250g (コード含む)